

あわつと感染症情報 (2026-25)

★今週のトピックス★

安房管内では、日本紅斑熱が流行しています！ 6月から12月は注意

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染するダニ媒介感染症です。マダニに刺されてから、2日から8日程度の潜伏期間を経て発症します。

主な症状は、発熱、発疹、マダニの刺し口に見える痂皮です。診断が遅れると、重症化することがあるため注意が必要とされています。



予防

- 半ズボンやサンダル履きなどの軽装は避け、長そで・長ズボンなど肌の露出が少ない服装にする
- 忌避剤(防虫スプレー)を使用する
- 地面に直接座らずにレジャーシート等の敷物を使用する
- 帰宅をしたらすぐに着替え、洗濯する
- 帰宅後はすぐに入浴し、体にダニが付いていないか確認する

昨年は、7件
でした。

発生届出件数累計 15件 (1週から25週まで)

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

★安房管内の感染症発生状況★

★安房管内における2026年第25週(令和8年6月15日～令和8年6月21日)

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は0.00人と前週0.50人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は0.66人と前週0.63人と比べ、増加)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

手足口病

安房

県内

定点医療機関当たりの報告数は0.25人と前週0.00人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は4.02人と前週2.38人と比べ、増加)

<参考>・手足口病(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

県内では、7週連続で
増加しています！

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点医療機関当たりの報告数は1.00人と前週0.75人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は2.40人と前週2.48人と比べ、減少)

<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

✿安房管内の全数届出疾患✿

全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2 類感染症>

★結核 1件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

<参考>・結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/

<4 類感染症>

★日本紅斑熱 2件

日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染するダニ媒介感染症です。

マダニに刺されてから、2日から8日程度の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、発疹、マダニの刺し口に見える痂皮です。診断が遅れると、重症化することがあるため注意が必要とされています。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

<5 類感染症>

★侵襲性肺炎球菌感染症 1件

小児と高齢者を中心とした発症が多く、臨床的特徴が異なります。

小児では、成人と異なり、肺炎を伴わず発熱のみを初期症状とした感染例のはっきりしない菌血症例が多いです。成人は、発熱や咳嗽、息切れなどを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多いです。

<参考>・侵襲性肺炎球菌感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-09-02.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp